



# せせらぎ

令和4年5月31日  
清瀬市立清瀬第四小学校  
6月号  
家庭数配布

## せせらぎの 恵みのいのち 初ほたる

校長 長沼正城

本校のすぐ横の「せせらぎの小川」に蛍が舞う季節となりました。5月25日には初ほたるが姿を現したそうです。ゆらゆらと空中遊泳を楽しむかのように。あたかも見る人に挨拶を送るかのように。

さて、27、30、27…、これは何の数字かお分かりになるでしょうか。暑かった…という声があちこちから聞こえてきました。そうです、この3日間の公式の最高気温です。この先の真夏を思うと、その猛暑・酷暑の恐ろしさに今から気が滅入ってしまいます。しかし同時に「じゃあ、どうしたらいいか!」という思いです。

今、本校では「熱中症対応マニュアル」を作成し、職員間で共有したところです。学校での指導と留意のポイントは、以下の5+3点です。

■外で活動（運動や作業）するとき…①マスクを外す ②薄着 ③こまめに水分補給 ④休憩をこまめに入れる ⑤活動終了後の水分補給

●WBGT（暑さ指数）測定器で計測し、活動してもよいかどうか判定する。「31℃」以上は中止。

●帽子をかぶる習慣（外遊びは赤白帽子やメッシュ帽子等）をつける。登下校時も帽子をかぶる習慣。

●登下校時もマスクを外していいことを理解させ、推奨する。

「マスクを外すこと」については、市教育委員会から正式な通知が届きました。私は「正しく怖れること」が、何より大事だと考えています。これを具体的に実践したのは給食での「黙食」です。

マスクを外して15分以上、2m以内で同じ部屋にいるわけです。しかし「しゃべらない」、「一方向に向く」という方法を徹底したのです。その結果、給食が原因でクラスターが起きたというニュースは聞いたことがありません。これは「正しく怖れて行動した」「知恵」と言えるでしょう。マスクを外しても「しゃべらない」ことが一番重要なのです。それが証明されたのです。

今、本校では、「じゃれ合うような状態」が時々あります。特にトイレ休憩や休み時間です。そういうフリーな場面でも児童が節度・自制心をもって行動できるようになれば、休み時間の外遊びや登下校の時も安心して「マスク外し」ができます。今後も「マスクを外したら、近づいてしゃべらない」ことを徹底したいと思います。ご家庭や地域でも、支援していただければ幸いです。

ところで「蛍」のことですが、昨年と比べると出だしが遅く、ここ1週間でまだ3匹…。ボランティアの方に尋ねると、今週から来週ぐらいがピークらしく、夜7時半ごろに出かけると出会えるかもしれないとのことでした。「ほたる観賞」も親子のすてきな“ひと時”になるに違いありません。さらに、そおっと「こんばんは…」と挨拶を送って見たらどうでしょう。蛍とつながるロマンの瞬間にもなることでしょう。挨拶ってすてきな振る舞いだと思います。

最後に5・6年生が書いてくれた「あいさつ標語」（代表）を紹介します。

5年生「ゆっくりと こころにひびく ありがとう」

6年生「きくだけで 笑顔がうかぶ あいさつは」



※「WBGT測定器」はホームページの「New 四小なう!」（5月30日）に掲載。また「熱中症対応マニュアル」や「文科省からのリーフレット」もホームページの「新着」に掲載します。